

2004年10月号

中村伊知哉所長のどこでも移動所長室

ムム子 = ム 所長 = 所

ネットのリアリティ、鉱石ラジオの興奮

- > ム In the City Tokyo、盛況でした。
- > 所 ケータイの実験もあったし。
- > ム 街に流れる音楽をケータイで拾うと、楽曲のデータが検索できたり、その曲をダウンロードできたりするやつでしょ。
- > 所 音とデータをマッチングする技術ね。
- > ム 音楽はケータイで聴くものになるんでしょうか。
- > 所 ゲーム機でもあるしな。カメラもついて。
- > ム おサイフでもあります。
- > 所 なんだかジャラジャラ飾りつけて、神々しくおがんだりしてるもんね。
- > ム ケータイがそんな風に発達してるのって日本だけなんじゃないか。
- > 所 日本では9割のユーザがケータイでインターネットを使ってる。韓国もそう。中国が3割。欧米はどこも1割くらい。
- > ム アジアが特殊なんですね。
- > 所 アジアといえば、夏にインドネシア行ってたんだ。そしたら、放映権料高いからといって、オリンピック中継やってなかったんだよ。
- > ム へえ。ネット中継してくれればいいのに。
- > 所 日本の放送局は170億円払ったとか。ネットのビジネスモデルができるといいけどねえ。
- > ム じゃあ北島浩介や体操王国復活、見られなかったんですね。
- > 所 でも野口みずきさんは帰国してからだったから見たよ。
- > ム 前回のシドニーでは、所長アメリカにいて、高橋尚子さんのテレビ中継してなくて見られなかったって大騒ぎしてましたよねー。
- > 所 日本に電話して、テレビの前に受話器置いてもらって、実況中継を国際電話で聞いたの。
- > ム 電話がとぎれとぎれに聞こえたとか。
- > 所 そう、国際電話の音声のとぎれとぎれに聞こえてね。なんだか、異様に興奮したんだよ。
- > ム いろいろ想像するからですかね。
- > 所 1936年のベルリンオリンピックのとき、「前畑がんばれ」の中継も、みんな音声とぎれとぎれで聞いていたっていうよ。
- > ム 鉱石ラジオの世界ですよ。
- > 所 ラジオがテレビになって、ブロードバンドになって、技術が発達しても、リアリティーは変わらないということだ。
- > ム 今回、高橋尚子さん、コロラドにいて、同じように日本のテレビを国際電話で聞いたそうですよ。新聞にコメントが載ってました。
- > 所 とぎれとぎれで異様に興奮したろうな。
- > ム 次の北京でもテレビとネットの緊張関係は変わらないんでしょうか。
- > 所 もうすぐ天津で「ケータイ国際フォーラム」が開かれて、日本からも大勢でかけるよ。中国はデジタルに本気。次のオリンピックには何か仕掛けてくると思う。